

科目	地理探究	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	2年一般・探究文系
使用教材	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院) 最新地理図表GEO(第一学習社)						

目 標	①社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりできる。 ②グローバル化する国際社会に主体的に生きることができる。 ③平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。
-----	--

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	ステップ3 ◆地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べ、まとめる技能を身に付けている。	◆地理的な課題の解決に向けて構想したり、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	◆考察や理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて、自覚している。
	ステップ2 ◆地理に関わる諸事象に関して、世界的空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解している。	◆地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して考察できる。	◆地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。
	ステップ1 ◆教科書本文に記載されている基本事項・重要事項を理解することができる。 ◆各種作業を通して、意図した内容を丁寧にまとめることができる。	◆授業で学んだ内容をもとに身近なことについて考察し、その考えたことを書いたり話したりすることができる。 ◆自らの考えを相手に対して伝えることができる。	◆知識や技能を身に付けるため、さらには思考力・判断力・表現力を醸成するために、学習に対して粘り強く取り組もうとしている。 ◆グループワークにおいて、周囲の生徒と協調的に関わりながら臨もうとしている。また、さまざまな提出物に対して意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	ペーパーテスト レポート等作業	ペーパーテスト 口頭試問・発表等	授業に取り組む意欲や態度 各種提出物 自己評価

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA, B, Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

講義形式の授業を基本とします。ただし、単元によりグループワークなどを用いたアクティブラーニング形態の授業を行うことにより、主体的な学びを深める機会も設定していきます。

担当者より

<p>○1年生で学習した内容を復習したうえで、さらに系統的な内容を分野ごとに学んでいきます。各分野を関連付けて学んでいくことがとても大切です。そうすることで地理的な思考力を養成することができます。</p> <p>○日頃から世界の様々な事象に目を向け、視野を広げましょう。地理的な知識はもちろんのこと、経済や歴史的背景にも興味関心を持ちましょう。</p> <p>○身の回りの生活の中にこそ、地理の学習につながるヒントが隠されています。身近なことに目を向け、多面的なものの見方や考え方を身に付けましょう。</p> <p>○地図帳やデータブックには、おもしろい情報がたくさん掲載されています。時間があれば、積極的に目を通してみましょう。</p>

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
前 期	◆系統地理	(前期中 間Ⅱ)	*1年生で学んだ内容を振り返り、基礎基本の確認を行ったのち系統地理に入ります。	
	○自然環境 地形 気候 日本の自然環境 地球環境問題	19	・大地形、小地形の特色やその成因を理解する。また、人間生活との関わりを理解する。 ・各気候区の特徴と人間生活との関わりを理解する。 ・日本の地形や気候の特徴、自然災害について理解する。 ・さまざまな環境問題を把握し、自然や人間生活への影響を考える。	
後 期	○資源と産業 農林水産業 食料問題 エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業 第3次産業	(前期期 末)	・農林水産業それぞれの立地条件とその特色について理解する。 ・食料に関わる世界及び日本の問題点について考察する。 ・各種資源の分布を理解し、その利用について考察する。 ・資源の視点から持続可能な社会を実現するための方策を考える。 ・工業の立地条件、分類とその特徴について理解する。 ・第3次産業の立地と産業構造の高度化が進展していることを理解する。	
	○交通・通信と観光、貿易 交通・通信 観光 貿易と経済圏	(後期中 間)	・交通網、情報通信網の発達とその影響について考察する。 ・観光の多様化や観光産業の変化について理解する。 ・各国の貿易の現状、貿易構造の変化について理解する。	
後 期	○人口、村落・都市 人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	15	・人口分布、人口構成、人口移動について理解する。 ・出生率と高齢化に関わる人口問題について考察する。 ・村落と都市の成立背景、機能、内部構造について理解する。 ・発展途上国、先進国、日本三大都市圏が抱える都市問題について理解し、その解決策について考察する。	
	○生活文化、民族・宗教 衣食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題	(後期期 末)	17	
合計時数		64		